

令和6年度 胃がん検診（内視鏡検査）精度管理調査結果（個別検診）

1 調査の趣旨

がん検診の実施にあたっては、科学的根拠に基づく検診を、受診率向上を含めた適切な精度管理の下で実施することが重要です。

検診機関は、「事業評価のためのチェックリスト」により、体制を整備し、定期的な達成状況の自己点検を求められています。

本調査は、千葉県がん対策審議会予防・早期発見部会が、がん検診精度管理推進のために、遵守状況の調査を実施しました。

2 調査概要

対象	県内市町村から胃がん（内視鏡検査）検診の個別検診を受託している検診機関
方法	ちば電子申請システムを活用した WEB 調査
内容	「事業評価のためのチェックリスト（検診機関用）」（国立がん研究センター作成）
期間	令和7年2月～令和7年3月

3 調査項目及び評価基準

調査項目は、検診機関用チェックリスト(22項目)で、評価基準は以下の4段階評価としました。

評価基準		非遵守項目(×の数)
A:	チェックリストを全て満たしている	0
B:	チェックリストを一部満たしていない	1-6
C:	チェックリストを相当程度満たしていない	7-12
D:	チェックリストを大きく逸脱している	13 以上

4 結果

(1)回答結果

対象機関: 383機関

回答機関: 271機関

回答率: 70.8%

(2)評価結果別機関数

評価	検診機関数
A	232
B	39
C	0
D	0

(3)項目別実施率 別添参照

※ 各検診機関において、胃がん検診（内視鏡検査）の取組状況を調査票に基づき自己評価したものであり、第三者により客観的に評価したものではありません。